

平成 21 年 10 月 14 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 21 年 10 月 14 日 (水曜日)

午後 4 時から午後 5 時まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 内藤 博子 委 員 羽賀 友信

委 員 中村 美和 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長 野口 正巳 教育総務課長 押見 康雄

学務課長補佐 青柳 満 学校教育課長 腮尾 理

子ども家庭課長 矢沢 康子 保育課長 若月 和浩

中央公民館長 葦沢 豊 中央図書館長 小野田 信子

科学博物館 山屋 茂人 教育センター所長 山岸 文夫

学校教育課主幹管理主事 星野 和人 学校教育課主幹兼管理主事 島倉 昭弘

スポーツ振興課 野口 博

5 事務のため出席した者

教育総務課庶務係長 新沢 達史 教育総務課庶務係 小川 瑞穂

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2		委員長職務代行者の指定
3	第 55 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 10 月定例会を開会する。

日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び加藤委員を指名する。

日程第 2 委員長職務代行者の指定

(大橋委員長) 日程第 2 委員長職務代行者の指定を行う。第 1 順位の委員長職務代行者であった内藤委員の任期は 10 月 12 日をもって満了したが、昨日 10 月 13 日に市長から再任された。については、改めて委員長職務代行者の指定を審議する。委員長の職務代行者の指定については、会議規則第 2 条の規定により、委員長の推選により委員会が行うこととなっている。そこで、第 1 順位は内藤委員、第 2 順位は羽賀委員を推選する。これに異議はないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、第 1 順位は内藤委員、第 2 順位は羽賀委員に決定した。

日程第 3 議案第 55 号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(大橋委員長) 日程第 3 議案第 55 号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定に

ついて を議題とする。今回の候補者は 13 組であり、分野ごとに区切って審議を行う。まず、整理番号 1 番と 2 番について、事務局の説明を求める。

(押見教育総務課長) 整理番号 1 番、内申者南中学校長、被候補者は長岡市立南中学校南友会 福祉委員会である。多年にわたり自主的に高齢者福祉施設との交流を継続している模範的行為が表彰規則第 2 条第 1 号に該当するとして、内申があった。先日行われた表彰選考会では、表彰規則第 2 条第 1 号に該当するとして、表彰の適否は「適」と判断された。続いて、整理番号 2 番、内申者岡南中学校長、被候補者は長岡市立岡南中学校岡友会 厚生委員会である。多年にわたり自主的に高齢者福祉施設との交流を継続している模範的行為が表彰規則第 2 条第 1 号に該当するとして、内申があった。先日行われた選考会では、表彰規則第 2 条第 1 号に該当するとして、表彰の適否「適」と判断された。

(大橋委員長) 内規にある福祉等のボランティアにあてはまるものである。質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 次に、整理番号 3 番について、事務局の説明を求める。

(押見教育総務課長) 整理番号 3 番、内申者は三島中学校長、氏名は八木耀、三島中学校 2 年である。功績は人命救助につながる善行であり、表彰規則第 2 条第 1 号に該当するとして内申があった。その他賞罰として、9 月 2 日に与板警察署より感謝状を受けている。選考会では表彰規則第 2 条第 1 号に該当するとして、「適」と判断された。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 次に、整理番号4番と5番について、事務局の説明を求める。

(押見教育総務課長) 整理番号4番、内申者は黒条小学校長、氏名蕙澤了である。平成5年4月1日から現在に至るまで16年6か月、多年にわたり学校運営協力者として寄与された功績が、表彰規則第2条第3号に該当するとして、内申があった。整理番号5番、内申者は前川小学校長、氏名吉原勉である。平成5年4月1日から現在に至るまで16年6か月、多年にわたり学校運営協力者として寄与された功績が、表彰規則第2条第3号に該当するとして内申があった。両名ともに選考会では表彰規則第2条第3号に該当するとして「適」の判断であった。

(大橋委員長) 15年以上学校運営に寄与された方である。質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 次に、整理番号6番と7番について、事務局の説明を求める。

(野口スポーツ振興課長) 整理番号6番、高野利勝は平成元年4月1日から現在に至る20年6か月、長岡市陸上競技協会理事として寄与されており、その功績は表彰規則第2条第6号に該当する。平成20年度には財団法人長岡市体育協会表彰、体育功労者賞を受賞されている。選考会では表彰規則第2条第6号に該当するとして「適」の判断をいただいている。続いて、整理番号7番、柿村辰夫は平成3年4月1日から平成21年3月31日まで長岡市ゲートボール連盟理事として、また平成15年4月1日から平成21年3月31日まで長岡市ゲートボール連盟副会長として寄与されており、その功績は表彰規則第2条第6号に該当する。平成20年度には財団法人長岡市体育協会表彰、体育功労者賞を受賞されている。選考会では表彰規則第2条第6号に該当するとして「適」の判断をいただいている。

(大橋委員長) 15年以上競技団体の役員として寄与された方である。質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 次に、整理番号8番について、事務局の説明を求める。

(山屋科学博物館長) 整理番号8番、故林ヤスである。200話以上の昔話を知る人物として昭和55年12月9日に旧栃尾市で無形民俗文化財に指定されており、継続して長岡市無形民俗文化財に指定されていた。昭和51年には栃尾市市政功労者表彰を受けている。平成20年12月1日に死去された。生前、後継者等の育成に尽力され、表彰規則第2条第11号該当として内申をあげ、選考会では「適」の判断をいただいている。

(大橋委員長) 表彰規則第2条第11号はその都度内容を検討となっている。質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 次に、整理番号9番について、事務局の説明を求める。

(押見教育総務課長) 整理番号9番、湯川哲至である。昨年度第41回手紙作文コンクールの手紙作文部門において最高賞である文部科学大臣賞を受賞している。これは表彰規則第2条第5号に該当すべき内容であり、選考会では「適」と判断された。

(大橋委員長) 全国規模の大会の優勝 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 次に、整理番号10番から12番について、事務局の説明を求める。

(青柳学務課長補佐) 整理番号 10 番、田中政春は昭和 61 年 4 月 1 日から平成 21 年 5 月 31 日まで 23 年 2 か月、学校医として寄与された。平成 16 年には旧三島町において、特別功労表彰を受けている。整理番号 11 番、佐藤裕子は昭和 60 年 4 月 1 日から平成 21 年 4 月 31 日まで 24 年 1 か月、学校薬剤師として寄与された。整理番号 12 番、渡辺ゆき子は昭和 60 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで 24 年、学校薬剤師として寄与された。いずれも、表彰規則第 2 条第 7 号に該当すると考えられ、選考会では「適」の判断をいただいた。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 最後に、整理番号 13 番について、事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 整理番号 13 番、坂東順子は平成 10 年 10 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで長岡市青少年育成員として寄与された。現在は県外に転出しており、転出をきっかけに辞職された。表彰規則第 2 条第 8 号に該当する。

(大橋委員長) 在職期間が 10 年から 15 年で辞職された方が対象となっている。質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 次に、整理番号 10 番から 12 番について、事務局の説明を求める。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告に入る。まず、ポニー関連事業の実施状況について、事務局から説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 熱中！感動！夢づくり事業の1つであるポニー事業であるが、夏から秋にかけて実施をしてきたものが終了した。関連事業として、ポニーカーニバル、グラウンドポニー、ちゃれんじ！ポニースクール、ポニーとキャンプの4つ事業を実施している。ポニーカーニバルについては、今年は平成12年から始めて10年目の節目の年であり、同じく40年目の節目を迎えた「子どもフェスティバル」と合同で開催をした。ニュータウン公園で実施。参加者は昨年を大きく上回る2,140人で、非常に多くの方に参加をしてもらった。特に特徴的なのが、運営について非常に多くの若者、高校生、専門学校生、技術大学のボランティアサークルにも声をかけ、参加をしてもらい、広がりをもたせることができた。グラウンドポニースクールについては、35校から希望があり、10校を訪問した。今年から新規に、2つの保育園を訪問した。学校、保育園のほかにも富曽亀児童クラブや養護老人ホーム岡南の郷にも出向き、高齢者ともふれあいの機会を持つことができた。ちゃれんじ！ポニースクールは、2週間から3週間の間、グラウンドを回っているポニーがニュータウン憩いの広場に停泊しており、土日に子どもたちからポニーの世話をしてもらうものである。多くの申し込みがあり、80人以上の申し込みがあり51名が参加した。ポニーとキャンプは昨年から3泊4日で実施している。ポニーだけでなく自然との触れ合いを、3泊という長い期間、子ども同士、スタッフから指導を受けながら宿泊体験を積むもの。今年ポニーが始まって10年、様々な観点から新しいものを取り組みながら事業を実施した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) アンケートはとっているか。

(矢沢子ども家庭課長) 毎年とっている。特にグラウンドポニースクールをまわった学校の先生や子どもを対象にしている。今年熱中！感動！夢づくり教育の5年目の節目でより幅広くアンケートをとった。後で報告する。

(加藤教育長) 定着し、好評で喜んでいる。やってきてよかった。蓼科のキャンプの申込みが減ったのは2泊3日から3泊4日にしたという日程的なものか。

(矢沢子ども家庭課長) 昨年3泊4日にしている。昨年はかなり増えた。今年はその分ちゃれんじ！ポニースクールが増えている。

(大橋委員長) リピーターはいるのか。

(矢沢子ども家庭課長) いる。

(大橋委員長) ポニーカーニバルについては、2,100 人を超える方が集まった。今年子どもフェスティバルと合同開催であった。来年度、技大生のボランティア等いろいろな方と協力し、人数を集めてほしい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見がないようなので、次に財産の取得(子育ての駅ちびっこ広場(仮称))について、事務局から説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 現在市民センター 4 階のちびっこ広場を移転し、子育ての駅ちびっこ広場(仮称)を整備するため、大手通中央西地区市街地再開発ビルの 2 階及び 3 階を取得するもの。取得価格は 450,000,000 円で、契約の相手方は協同組合丸専、平成 21 年 9 月 29 日に長岡市議会の議決をいただいた。再開発ビルの概要として地下 1 階、地上 18 階建ての高層マンションで、来年 6 月 25 日を目標に完成の予定で、現在 14 階まで建設が進んでいる。2、3 階部分を市が購入し現在のあるちびっこ広場を移転する。今のちびっこ広場が約 800 m²で、移転すると 1,421 m²となる。そこに街中の絵本館機能の充実を図っていくため、中央図書館と連携し進めたい。9 月 29 日から約 1 か月で所有権の移転登記を行い、1 回目に支払い後内装工事にはいる。来年 4 月に 2 回目の支払いをし、6 月末には引き渡しを受け、最終的な支払いをして完了する。オープンは 6 月末に引き渡しを受けてから備品の搬入等を行い 1 ヶ月後の 7 月末、8 月上旬に考えている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(内藤委員) 相談業務で母子保健推進員としてちびっこ広場を訪ねている。ノートが置いてあり、いろいろ書き込みがしてあり、イライラやもやもやが、緩和されているのではと感じている。保護者から喜ばれている施設である。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に文芸講演会(11 月 1 日)について、事務局から説明を求める。

(小野田中央図書館長) 中央図書館では毎年、秋の読書週間にあわせて文芸講演会を実施している。本年は、長岡出身作家、松岡譲が亡くなって 40 年になるため、松岡譲没後 40 年記念講演会を開催する。講師は松岡譲さんの四女、半藤末利子さん。

「まぼろしの漱石文学館」というテーマで、松岡譲が漱石文学館にかけた思いを中心に講演をしていただく。松岡譲については、大正から昭和の文壇の中で、芥川龍之介

など一緒に文学活動を切磋琢磨しながらやってきた方。長岡の文芸雑誌にも影響を与えた。講演会は11月1日午後2時からであるが、その前に10月20日から11月1日まで中央図書館1階エントランスホールにて松岡譲関連資料展示を行う。半藤末利子さんから関係書簡や原稿のたたき台などを借用し、展示する。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。次に移動図書館車「米百俵号」(1号車)の新車入替えについて、事務局から説明を求める。

(小野田中央図書館長) 10月20日から入れ替える。2,000冊図書を積載する。現在の米百俵号は、1号車が赤、2号車は青になっているため、そのまま赤を基調とした。職員でデザインを考え、花火と読書する親子とした。出発式を10月20日の朝、職員で行う。テープカットを行い送り出す。米百俵号は中央図書館から離れて活動を行うため、中央図書館に通う人にはなじみがない。記念展示を10月24日、25日に中央図書館玄関前に設置し、実際に本の貸し出しを行い、お披露目をする。天然ガス車である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。他に協議報告事項はないか。

(大橋委員長) これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に山谷沢小学校と柿が丘学園を訪問した。訪問について、委員の皆さんの意見、感想はいかがか。

(羽賀委員) 山谷沢小学校は小規模校の良い特色がでていた。非常に子どもに反映されている。校長の影響も強いし、先生が前向きである。子どもたちが落ち着いている。山谷沢のシステムが今後長岡の中で広まると、コミュニケーション能力を高める実績につながるのではないかと感じた。受け答えやあいさつもしっかりしており、理想に近い形である。地域の方々の非常に協力的な姿を垣間見ることができた。柿が丘学園は、先生たちの苦労を一番に感じた。子どもたちから目を離す暇がない。いろいろな障害を持っている子どもを教育委員会でケアをすることはとてもよい。在宅支援

も相談等を行っており、バックアップが学校にもつながっていき、長岡の教育のきめこまかさを感じた。

(中村委員) 山谷沢小学校は、子ども、先生のあいさつがとてもよい。はつらつと学校生活を送っていた。学校中掃除も行き届いて、子どもたちの整理もできていた。いきいきスピーチ活動について、順番に全校生徒前で話をする機会があることで、聞く方の心の成長もあり、発表することで自信にもつながり、達成感を得ることができ、すばらしい活動である。また、山小オリンピックというものがあり、たてわり班で上の子が下の子を見るのは、「立場が人を育てる」と先生が言っていたが、その通りである。学年にあった目標があってそれに準じてどの先生も指導しており、それができていると感じた。中学に行っても心配がないと感じた。遊具が他の幼稚園、保育園にはないものであった。ダイナミックなトランポリンや大きいマットがたくさんあった。その中で危ないと思うことがあったが、それを先生がサポートしている。常に目、神経、体を使い指導し、ご苦労があると感じた。日々勉強で勤務している姿があり、これらかもそのまま続けてほしいと思う。

(内藤委員) 山谷沢小学校は、いきいきスピーチコンテストが功をなしている。学校と家庭と保護者が密に連絡をとるのに非常にいい方法であるとのこと。言葉がないと学校との連絡がなかなかうまくいかない。6年間で成長することがよくわかった。給食を2年生と一緒に食べたが、言葉が上手に使えて、的確に話してくれる。柿が丘学園は一人一人の子に対しても連絡帳を書いていたが、一所懸命学園での出来事を書いており、これが保護者との連絡の大事な綱で一番いいと言われた。自分の子ども成長の記録として残すことが大切と言った先生の言葉が印象的だった。

(加藤教育長) 山谷沢小学校は安定していた。先生の雰囲気が良い。いきいきスピーチコンテストがただの行事だけで終わってなく、日々の授業につながっている。このようないい活動はぜひ広めてほしい。次の日程にぜひ行きたい。

(大橋委員長) 自宅で題材から相談して作って、マイクも使わず、原稿も見ずに発表する。学年に応じて文字数も変わる。

(羽賀委員) 社会にでてからとくに効果がでる。

(大橋委員長) 特色ある活動というと、総合的な学習の時間の稲作りなどが多いが、非常にいいものである。

(加藤教育長) 柿が丘学園は人的支援が必要であると感じた。基本中の基本の時期にいろいろとやっておけば、後の学校生活にもつながっていくと思う。もう1点、悩んでいる親のケアで、教育センターやすこやか応援チームの相談員が月に1回相談に行ってもいいかなと感じた。行政は、相談業務を行っているところへ行くよう振り分けをすすめるが、なかなか行きにくい。実際に子どもが通っているところで相談できたらとよいと思う。

(大橋委員長) 山谷沢小学校は、いきいきスピーチコンテストが非常によい。平成6年からの伝統である。親と一緒に題材を考え、内容について指導をし、会話がある。マイクなしで堂々とやっている。これは力になると感じた。柿が丘学園は、子どもがいる間は休む間がない。保育士が行っているということで、つながりがあることがよいと感じた。

(大橋委員長) 他に意見、質問はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員